

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和7年度第2回 さいたま市岩槻人形博物館運営委員会
2 会議の開催日時	令和8年3月4日(水曜日) 午後2時00分～午後3時50分
3 会議の開催場所	さいたま市岩槻人形博物館会議室
4 出席者名	新井委員長、是澤副委員長、小川委員、小澤委員、小野寺委員、中村委員、抜井委員、森田委員、八巻委員
5 欠席者名	内田委員
6 議題及び公開又は非公開の別	(議題) 1 報告事項 令和7年度事業について 2 審議事項 令和8年度事業計画(案)について (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0名
9 審議した内容	令和8年度事業計画(案)について
10 問合せ先	スポーツ文化局文化部 岩槻人形博物館 電話 048-749-0222 FAX 048-749-0225
11 その他	—



令和7年度 第2回さいたま市岩槻人形博物館運営委員会

日時：令和8年3月4日（水）午後2時00分～
場所：さいたま市岩槻人形博物館 会議室

令和7年度第2回さいたま市岩槻人形博物館運営委員会 次第

日時：令和8年3月4日（水）
14時00分から15時00分まで
場所：さいたま市岩槻人形博物館会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

- (1)報告事項 令和7年度事業について
- (2)審議事項 令和8年度事業計画（案）について
- (3)その他

4. 閉会

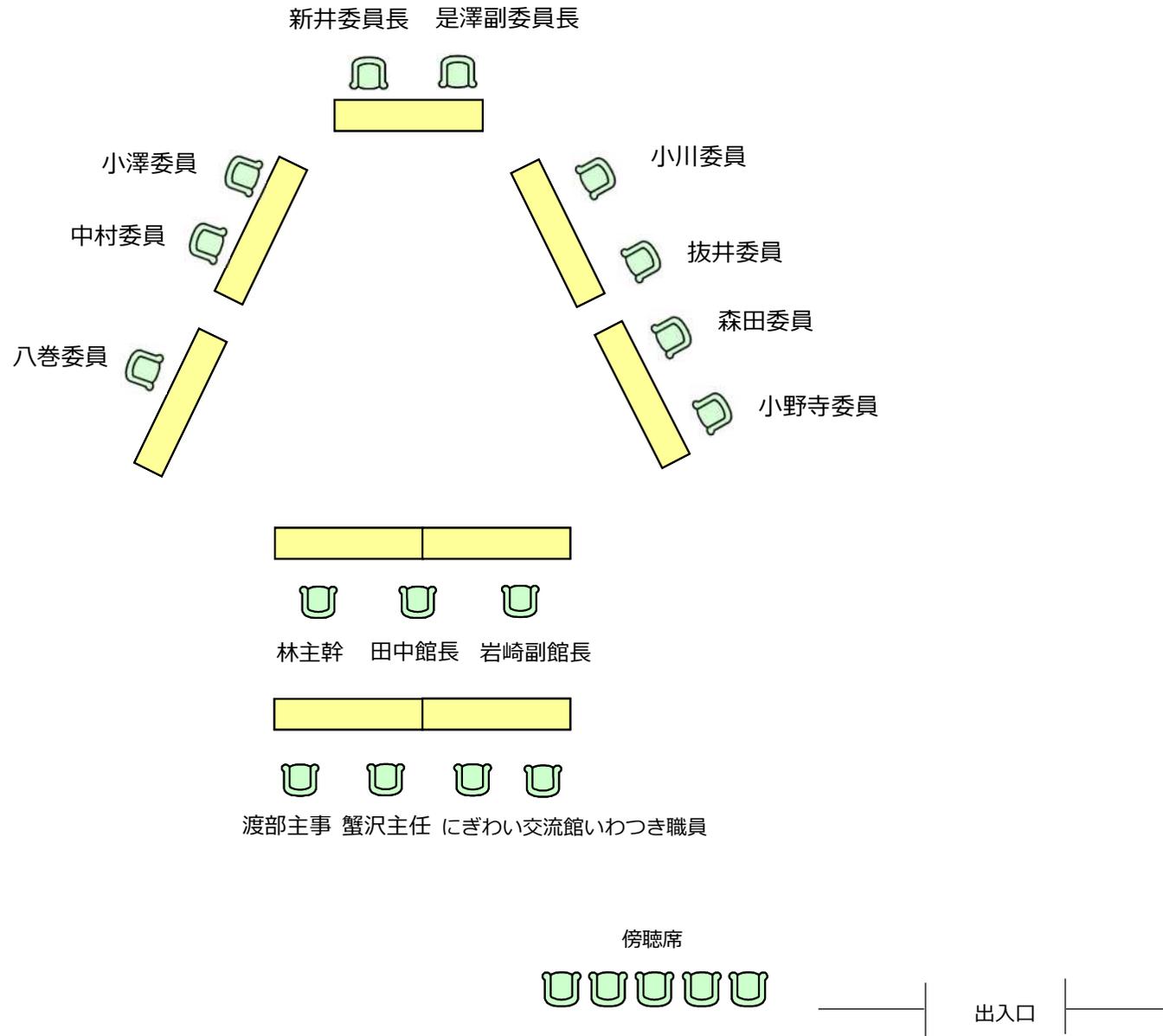
委員名簿

(敬称略 五十音順)

氏名	所属
新井 久代	公益財団法人遠山記念館 事務局長 学芸員
内田 幸彦	埼玉県教育局教育総務課文化財・博物館課 副課長
小川 貴史	株式会社三越伊勢丹 三越日本橋本店 営業統括部 営業計画部 マネージャー 学芸員
小澤 正信	NPO法人岩槻・人形文化サポーターズ 代表理事
小野寺 秀一	東武鉄道株式会社 岩槻駅長
是澤 博昭	大妻女子大学 教授
中村 美帆	青山学院大学 准教授
抜井 ゆかり	立教大学 兼任講師
森田 由美子	岩槻人形協同組合 婦人部長
八巻 功	岩槻区自治会連合会 会長

任期：令和7年3月6日から令和9年3月5日まで

席次



議題

(1) 報告事項 令和7年度事業について

令和7年度事業について

1. 展示事業

特集展示

「こんな人形、集めました！－西澤笛畝の人形コレクション選Ⅱ－」

会 期：令和7年4月26日（土）～6月29日（日）

開館日数：57日間 来館者数 5,131人（90人/1日）

《関連イベント》

①ボランティアによる展示解説（常設展）

期 日：5月3日（土・祝）、4日（日・祝）、5日（月・祝）

参加者数：総計39名 ※解説担当ボランティア：3名

②ワークショップ 特集展示オリジナル缶バッジ作り

期 日：5月4日（日・祝）、5日（月・祝）

参加者数：総計200名



開館5周年記念 企画展

「おいでよ！にんぱく動物園～かわいいどうぶつ大集合～」

会 期：令和7年7月19日（土）～9月7日（日）

開館日数：46日間 来館者数 5,595人（122人/1日）

《関連イベント》

①学芸員による展示解説

期 日：7月21日（月・祝）参加者数28名

8月10日（日）参加者数9名

②ワークショップ「つくろう、御殿玩具～ふくら雀の絵付け体験～」

期 日：8月23日（土）参加者数16名



令和7年度事業について

開館5周年記念 特別展

「THE 岩槻の人形史 ー受け継がれし人形、ここに見参！ー」

※文化庁の令和7年度「地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業」

会 期：令和7年10月4日（土）～11月30日（日）

開館日数：53日間 来館者数 7,854人（148人/1日）

《関連イベント》

①スライドトーク「深掘り！岩槻の人形」

期 日：10月26日（日）参加者数16名、11月16日（日）参加者数25名

②学芸員による展示解説

期 日：10月18日（土）参加者数23名、11月9日（日）参加者数7名、
11月24日（月・休）参加者数21名

③IWATSUKI NINGYO EXPO ※会期中にロビーで同時開催。

岩槻の人形展示、職人による実演、ワークショップや着装体験、アフター万博等。



企画展

「ミニチュア×にんぱく 雛祭り ～江戸の職人芸から近代の創作まで～」

会 期：令和8年1月24日（土）～3月22日（日）

開館予定日数：52日間 来館者数 5,661人（2月28日現在）

《関連イベント》

①スライドトーク 期 日：2月14日（土）参加者数15名、3月15日（日）

②ワークショップ「ふじ雛の絵付け体験」期 日：2月15日（日）参加者数：総計14名

「組香をやってみよう 源氏香」期 日：3月14日（土）

③ボランティアによる雛めぐり常設展示解説 期 日：2月23日（月・祝）、3月8日（日）



特別公開

「平田郷陽の人形」

会 期：令和7年12月12日（金）～令和8年1月12日（月・祝）

開館日数：20日間 来館者数 1,182人（59人/1日）



「矢の根」

平田郷陽

昭和17年

(1942)

令和7年度事業について

2. 普及事業

(1) ワークショップ等

① ワークショップ「桐塑の型抜体験」

期 日：令和7年11月1日（日）10時～15時

参加者数50名

※その他のワークショップ等は展覧会関連イベントに記載



WSの様子

(2) 校外学習（小・中学校見学等受け入れ）

【受入実績】

（令和8年2月末現在）

内訳	学校数	参加人数
市内	17校	1,571人
市外	11校	1,140人
合計	28校	2,711人



学校見学受け入れの様子

(3) ボランティアの活動

【活動実績】

（令和8年2月末現在）

内容	実施回数	延べ人数
研修	6回	41人
ワークショップ	3回	17人
展示解説	13回	13人
学校見学	23回	43人
その他	5回	18人
合計	51回	132人

登録者数：23人



展示解説の様子

令和7年度事業について

2. 普及事業

(4) 館外イベント出展事業

- ①浦和レッズホームゲームでのPR
開催日：4月20日（日）
- ②WATSUストリートマルシェでのPR
開催日：5月17日（土）、7月19日（土）、11月15日（土）
- ③館外人形レプリカ・パネル展示
開催日：7月22日（火）～8月13日（水）イオンモール与野
8月13日（水）～8月27日（水）さいたま市役所本庁舎
8月27日（水）～9月19日（金）見沼区役所
9月19日（金）～10月31日（金）岩槻区役所
10月31日（金）～11月28日（金）イオンモール浦和美園



WATSUストリートマルシェでの様子

(5) 5周年記念事業

- ①にんぱくキッズ縁日
期 日：8月10日（日）参加者数200名
岩槻まつり当日に「缶バッジ釣り」「ブレスレットづくり」を実施
- ②にんぱくナイトサファリ
期 日：8月1日（金）参加者数37名、8月10日（日）参加者数133名
にんぱく動物園展に合わせ、ナイトサファリをテーマにナイトミュージアムを開催
いずれも17時～20時開館



令和7年度事業について

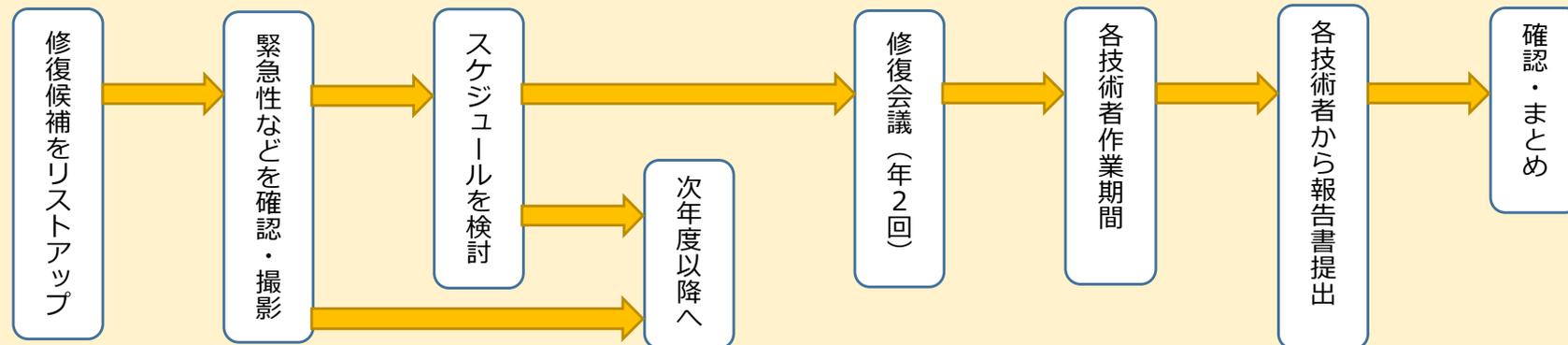
3. 人形資料等調査・研究・修復事業

(1) 人形資料等修復

文化財修復技術者（会計年度任用職員）5名による資料修復を実施
館内では取り扱いが難しい修復（主に紙資料）に関しては委託業者に依頼

年度	令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
修復件数	397件	67件	39件	47件	54件	41件	66件(予定)	711件(予定)

修復事業の流れ



(2) 人形資料等収集（購入・寄贈）

年度	令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
購入件数	987件	8件	10件	13件	14件	10件	4件(予定)	1,046件(予定)
寄贈件数	4,424件	56件	15件	107件	13件	25件	調整中	4,640件(予定)
合計	5,411件	64件	25件	120件	27件	35件	4件(予定)	5,686件(予定)

令和7年度事業について

4. 広報活動

主な広報実績

媒体	主な掲載・放送メディア
テレビ・ラジオ	BSよしもと「発信Liveジモトノチカラ」、NHKさいたま放送局、テレビ埼玉 ほか
新聞	毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、東京新聞、埼玉新聞、大宮経済新聞 ほか
雑誌・書籍・フリーペーパー	美術の窓、たまログ、小さな蕾、定年時代、さいたま往来、にんぎょう日本、ら・みやび ほか

5. 地域との連携

(1)NPO法人岩槻・人形文化サポーターズによるイベント

- ・端午の節句（5/4,5）・七夕の節句（8/2）・重陽の節句（9/27）・人日の節句（1/25）
- ・雛祭り（2/21、23）

(2)特別展コラボイベント

- ①岩槻人形協同組合…製作実演（10/5、19、11/8、15）、ワークショップ（11/9、22）
- ②人形文化サポーターズ…ワークショップほか（10/25、11/2、23）

6. その他

展示解説システムの導入

スマートフォンからアプリ（ポケット学芸員）を利用し、多言語による解説、音声ガイドを実施

翻訳言語：4言語（英語、中国語（繁体、簡体）、韓国語）

音声ガイド：4言語（日本語、英語、中国語、韓国語）

議題

(2) 審議事項 令和8年度事業計画（案）について

令和8年度事業計画（案）について

【令和8年度目標】

さいたま市総合振興計画基本計画実施計画（令和8年度～令和12年度）

目標指標		表示単位	実績	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(1)	岩槻人形博物館 来館者数	人	49,662 (令和6年度)	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
(2)	岩槻の人形の認知 度（市内在住者）	%	74.8 (令和7年度)	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0
(3)	岩槻の人形の認知 度（市内在勤者）	%	66.8 (令和7年度)	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0

1. 展示事業

(1) 基本的方向性

[展覧会] リピーターの獲得及び幅広い層への訴求を意識した展示を実施

年4回《特集展示、企画展（夏）、特別企画展、企画展（雛）》
現代人形作家を紹介する特別企画展の第3弾では「辻村寿三郎」
の人形展を開催

[常設展示] リピーターを逃さないためにコレクションを幅広く活用した展示替えを実施
年10回程度

令和8年度事業計画（案）について

（2）展覧会計画

特集展示

創作人形展 ～作家の手がつくる、かたち～

【会期】 4月25日（土）～6月28日（日）

【狙い】 **芸術としての人形の魅力を紹介**

【内容】 昭和時代初期以降、芸術として認められるに至った“創作人形”。
当館のコレクションのなかから、多様な作家の作品を展示。

【主な展示資料】 平田郷陽、鹿児島寿蔵など人間国宝の作品のほか、
さいたまゆかりの作家の作品

【関連イベント】 ボランティアによる展示解説、缶バッジ作りなど



「夢」平田郷陽

企画展

（仮）人形マジカル・ワールド

【会期】 7月18日（土）～9月6日（日）

【狙い】 **夏休み向け企画展**

【内容】 信仰と深く結びついた日本の人形文化。昔の人達は人形に何を
祈り、どんな願いを託したのか、人形にまつわる不思議な世界
を紹介。

【主な展示資料】 犬篋、這子、天児など

【関連イベント】 夏休みこども企画、ナイトミュージアムなど



犬篋

令和8年度事業計画（案）について

特別企画展

（仮）辻村寿三郎人形作品展

【会期】 9月19日（土）～12月6日（日）

【狙い】 **人気人形作家の作品展示により幅広い層への訴求を図る**

【内容】 日本を代表する人形作家である辻村寿三郎が表現する、独創的で妖艶な人形は、NHKの人形劇で脚光を浴び、以降、多くの人々を魅了し続けている。広島県三次市にあるアトリエジュサブロー・辻村寿三郎人形館の協力のもと開催。

【主な展示資料】 八犬伝、真田十勇士、吉原など

【関連イベント】 二代目寿三郎による人形舞など



「麒麟獅子廓の寿」(部分)辻村寿三郎
辻村寿三郎人形館蔵

企画展

（仮）にんぱくの雛祭り ～お雛さまのよそおい～

【会期】 1月23日（土）～3月22日（月・祝）

【狙い】 **にんぱく恒例の雛祭り展**

【内容】 さまざまな衣装を身にまとった人形について、よそおいに注目し、装束の様式や文様に込められた意味を紹介。

【主な展示資料】 天野家雛段、次郎左衛門頭立雛など

【関連イベント】 ワークショップ・スライドトークなど



天野家雛段

第33回 伝統工芸人形展 ※予定

【会期】 12月12日（土）～12月25日（金）

【内容】 当館におけるはじめての全国公募展として、日本工芸会との共催により開催。



「玉辟邪」中村信喬 個人蔵
第32回伝統工芸人形展
文部科学大臣賞受賞

令和8年度事業計画（案）について

2. 教育普及事業

(1) ワークショップ・講座・講演会 等

【基本的方向性】

ワークショップについては、引き続きボランティアを中心とした準備・開催を目指し、定番的な内容のワークショップを通年実施する。講座・講演会については、各展覧会のテーマに応じて実施を検討する。

(2) 博学連携（学校見学等受入れ）

【基本的方向性】

受け入れ体制の充実を図り、市内のみならず、市外の学校にも積極的にアプローチを行い学校見学の連携強化を図るとともに、学習内容の見直しを検討する。

(3) ボランティア活動

【基本的方向性】

研修や展示解説、ワークショップを通じて、更なるスキルアップを行うとともに、活動内容を拡充し、ボランティアの満足度の向上を図りながら、来館者の満足度につなげる。

3. 人形資料等調査・研究・修復事業

【基本的方向性】

当館コレクションの調査・研究を行い、その成果を展示などに生かすとともに、未来に継承すべき人形資料及び人形関連資料の収集を行う。

また、資料修復は劣化状況等を勘案しながら、優先順位を決定し修復を行っていく。

令和8年度事業計画（案）について

4. 広報プロモーション

【基本的方向性】

来館者数の増加や館の認知度の向上を図るため、市内外の他館連携の強化や周辺自治体との連携を図り、県内及び近県をターゲットに広報を実施

<想定している内容>

- ・ 周辺自治体等と連携したツアーの造成
- ・ 多言語対応の展示解説ガイドシステムの活用
- ・ 購買意欲を刺激するようなミュージアムグッズの開発
- ・ 気候変動に対応した夏期における変則的な開館時間の検討
- ・ 若年層の取り込みを意識したソーシャルメディアの活用方法の再検討
- ・ 映画やドラマ等の撮影地としてメディア露出

5. 地域との連携

【基本的方向性】

・ 岩槻人形協同組合や岩槻・人形文化サポーターズなどの地域団体やにぎわい交流館いわつきと連携した取組や地域イベントは継続しつつ、体験型コンテンツの確立など連携内容の拡充を検討